

さねさし



発行 文化財愛護
平成18年7月22日 シンボルマーク
相模原市文化財調査・普及員
広報グループ

～「さねさし」とは、相模国の枕詞です～

文化財調査・普及員北部班・民俗班
による古民家園普及事業始まる！

7月から北部班・民俗班による古民家園の普及事業と燻蒸（建物の保存のため囲炉裏に火を入れること）が始まりました。

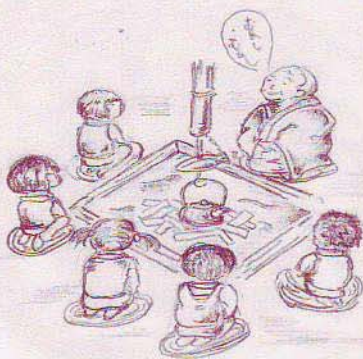
古民家園普及事業は「昔遊び一作って遊ぼう」をテーマに8月から毎月第4日曜日（12月・1月は変更）行っていきます。

第一回目の8月27日には、水にちなんで竹の水でっぼう作りと、公園内を流れる小川での笹船流しを計画しています。

9月は、「仕事唄のつどい」の体験コーナーでは縄ないを利用して、自分で作った縄での縄跳びや、竹馬乗りも予定しています。

ただ、昔を懐かしむのではなく、身近にある野草や木ノ実を利用して、自分で作れるものから手がけ郷土に伝わる「食」についても地域の人たちの協力

古民家園の様子



目次

- ①・文化財調査・普及員北部班・民俗班による古民家園普及事業始まる！
・今年度の古民家園での活動予定紹介
- ②・文化財案内板完成記念ウォーク
・子どもたちに伝えるメッセージ
～麻溝小6年地域学習への支援活動～
- ③・氷川神社の子育地蔵の銘文
・江戸時代から続く大沼観音堂に唱え継がれる御詠歌、和讃
- ④・町田から相模大野文化財めぐり
・文化財保護課からのお知らせ

を仰ぎ、体現していきたいと考えています。
燻蒸も、今は月2回ですが、今後はもっと回数を増やしていければと考えています。

平成18年度

古民家園普及事業予定表

- 8月 笹ふねと水でっぼうづくり
- 9月 仕事唄のつどいと竹馬・縄跳び体験
- 10月 紙しばい（読み聞かせ）と昔話
- 11月 木ノ実で遊ぼう
- 12月 正月飾り（しめ縄飾り）づくり
- 1月 供食事業 ～もちつき～（予定）
- 2月 凧づくり
- 3月 竹とんぼづくり

文化財案内板完成記念ウオーク 多くの市民と共に境川流域歴史散歩

古淵駅前文化財案内板を設置するため、昨年12月に、文化財調査・普及員の東部班を中心に「古淵駅周辺文化財案内板設置実行委員会」がつくられました。案内板は無事完成し、本年3月17日（金）に、市内で初めて駅前の「文化財案内板」が設置されました。完成を記念して、3月25日（土）に、案内板に載っている一部地域のウオークが実施されました。



古淵駅前に
完成した案内板

当日は好天に恵まれ、市の広報紙等を見て集まった参加者は予想をはるかに上回り、古淵駅前には人であふれるばかり、総勢実に78名になりました。私たち実行委員で案内が出来るか、心配になったほどです。幸い、事前に作成したコース案内の配布資料も好評でした。

大日堂から鹿島神社へと案内が進むと、ようやく説明担当者もペースにのってきました。龍像寺から皇武神社・小川家（千人同心旧家）・淵辺義博伝承地と、古い集落の面影が残る道を歩きました。

当日は、龍像寺の御住職が、私たちに、寺宝の「龍骨と矢じり」を見せてくださいました。伝承とともに長い間大切に寺に伝えられてきたもので、みんな興味津々。本堂に上がらせてもらい、かたずをのんで、めったに見ることが出来ないものに見入りました。

帰りは、安全のため車道を離れ、境川沿いを歩いて古淵駅で解散しました。無事終わり、ほっとするとともに、この経験を生かして、今後も市民とともに文化財めぐりが出来るような企画を考えたいと思っています。（東部班 宮下）



大日堂では今でも
念仏講が行われて
います

子どもたちに伝えるメッセージ ～麻溝小6年地域学習への支援活動～

麻溝小学校6年社会科の「東原古墳と無量光寺見学学習」を支援する活動の機会がありました。支援活動は、学校から文化財保護課に依頼があり、文化財保護課から、学区内の文化財調査・普及員に誘いがあり、4名が参加しました。当日は、次の計画に沿って活動が展開されました。

「麻溝小学校6年社会科の

東原古墳と無量光寺の見学について」

日時 5月26日（金）13:50-15:20

対応者 文化財保護課職員 1名

麻溝地区在住文化財調査・普及員 4名

導入 東原古墳と東原遺跡の概要

展開 ・この時代の土器はどんなかな？

・古墳からの景色を見てみよう！

・古墳を発掘したらこんな物がでてきたよ

～東原古墳→当麻山無量光寺に移動～

導入 当麻山無量光寺の概要

展開 ・無量光寺ってどんなお寺？

・無量光寺にはどんな古いものがあるかな？

・昔の無量光寺はどんなだったかな？

質問コーナーとまとめ

児童の素直な吸収力に感動させられながらの活動でしたが、我々も改めて地域の文化財について勉強し直すよい機会にもなりました。

（南部班 五十嵐・稲葉・阿部・千葉）

麻溝には文化財が
たくさんあります



氷川神社の子育地蔵の銘文

清新の氷川神社は、清兵衛新田の入植者の士気を高めるために天保14年(1843)に創建されました。境内で最も目を引く『開墾記念碑』(市登録有形文化財)の題字は、江戸幕府最後の将軍徳川慶喜によって書かれたものです。

今回紹介します『子育地蔵尊』(丸彫座像)は、弘化3年(1846)に造られ昭和20年に本殿右に移築されたもので、『子安地蔵』(赤子を抱く丸彫座像)と共に木造のお社の中に祀られています。

この『子育地蔵尊』には、支柱正面に縦書き5行で下記のような銘文が刻まれています。

隠岐國阿徳無地蔵尊

此地蔵尊ニ口中ノ病氣□

□□祓ヒ御力願掛致シ

候ハ早速ニ験給フ事疑ナシ

依之為施造立

『阿徳無地蔵』は、仁明天皇の御代(平安時代)に参議小野篁(たかむら)卿が流された隠岐で、自ら彫像した地蔵仏が村人の歯の病を治したと云う縁起をもち、わが国最古の地蔵尊と言われています。また、子宝授与、寿命長遠にもご利益があるようで、氷川神社では子育地蔵として祀られています。



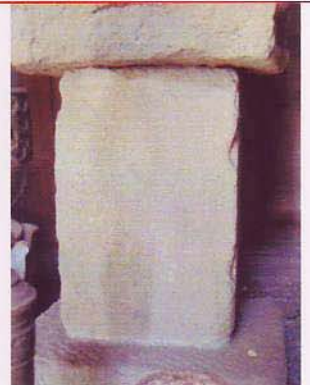
a)

安産子育地蔵尊のお社



b)

子育地蔵尊



c)

銘文部

(石造物班 橋本)

江戸時代から続く 大沼観音堂に唱え継がれる御詠歌、和讃

大沼には、古くから毎月1回仏さまにちなんだ「おめでたい日」がもうけられ、その日に女性が観音堂に集まって念仏や御詠歌、和讃が唱えられています。市内で継続して行われている所は少なくなり、大変貴重な存在です。お堂に祀る千手観音菩薩の前で、十数名の女性が輪になり、鈴と鉦で拍子を取り独特の節まわしで唱えられます。般若心経から始まって観世音菩薩御詠歌、十三仏御詠歌、仏道橋和讃など約一時間続けられ、終わ



貴重な御詠歌

ると供物を下げお茶になり、雑談に花を咲かせます。

観音堂建立の時期は、はっきりしませんが、嘉永元年(1848)の淵野

辺村宗門人別御改書に記されているので、それ以前と思われます。お堂が建てられたあと、集落に悲しい出来事が重なった時、女性による念仏講として始められたのだろうか。(古い資料を遺失したとのことで始められた時の様子はわかりません)

(東部班 太田)



大沼観音堂

御詠歌・和讃とは・・・仏教音楽の一つで鈴と鉦を打ち鳴らし、仏とその教えを讃え、苦悩を取り去り、安心を得るため唱えられる。御詠歌は、三十一文字の和歌に曲をつけたもの、和讃は、七五調の歌詞に曲をつけたもので平安時代にはじまり江戸時代に、庶民に広まったとされています。

大沼観音堂所在地 西大沼4丁目2番地 千手観音菩薩は非公開

上鶴間周辺 文化財めぐり

今回は町田駅～相模大野駅間に点在する主な文化財を紹介します。

①青柳寺 題目塔、馬頭・牛頭観音等の石造物がある。また、隣接する鹿島神社には武相困民党発祥之地碑等がある。

②惣吉稲荷境内【市指定史跡】 旧西光寺の故地といわれ、江戸時代の伝承を残す所。大岡義成の死後その墓守を全うした下男惣吉の名に因んで惣吉稲荷と呼ばれている。同境内に次の③、④がある。

③中和延文四年の板碑（双碑）

【市指定有形文化財（歴史資料）】

1359年の一對の板碑で阿陀如来三尊来迎の図柄が見事に陽刻されている。

④旗本大岡義成夫妻の墓碑

【市登録有形文化財（歴史資料）】

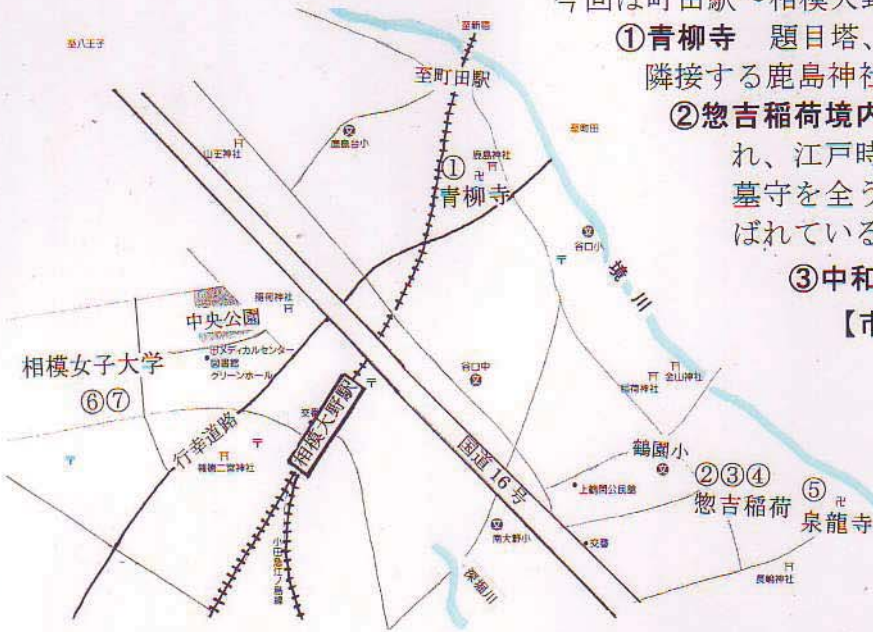
義成は徳川氏譜代の家臣で、旗本と知行地の関係を知る上で貴重な歴史資料として、登録されている。

⑤泉龍寺 墓地に宝徳元年(1449)の墓石がある。これは市内最古銘の墓石といわれている。

⑥・⑦旧陸軍通信学校将校集会所・庭園（相模女子大学第一本部棟・フランス庭園）

【市登録有形文化財（建造物）・市登録名勝】

構内には⑥、⑦の他、1930年代以降の「軍都相模原」を物語る防空壕跡や陸軍の星印入りのマンホール蓋等が残っている。



コース【町田駅—10分—青柳寺—35分—惣吉稲荷—5分—泉龍寺—40分—相模女子大—5分—相模大野駅】

*次号以降も各地区の文化財マップを紹介いたします。ご要望があれば、文化財調査・普及員が各地区の文化財の案内をいたしますので、文化財保護課までご連絡ください。

参考資料 (1)『相模原の文化財』相模原市市教育委員会 19, 25, 52, 53, 57 頁 (2)相模原市文化財調査・普及員『H17文化財マップ発表会』東南班資料 (3)『相模原の石仏』H16年相模原市立博物館春季企画展資料 (東南班 渡辺)

文化財保護課からのお知らせ

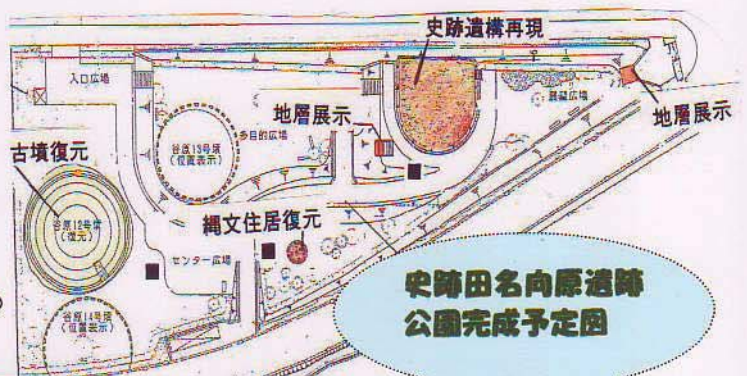
市内初の遺跡公園 “史跡田名向原遺跡公園”の整備工事もなく始まる！

市内初の遺跡公園「史跡田名向原遺跡公園」が、平成19年4月の開園に向け、整備工事が始まりました。公園内には、国内最古といわれる約18,000年前の住居状遺構のレプリカ、旧石器時代から現代までの地層展示、周辺で発掘された縄文時代の竪穴住居及び谷原12号墳の復元を行います。

また、遺跡のガイダンス施設は平成21年に4月のオープンを目指しています。

都市計画道路相原宮下線の発掘調査もなく開始！

昨年引き続き、都市計画道路相原宮下線の発掘調査が行われます。調査地は、元橋本町の国道16号線とJR横浜線の間で、相模原市埋蔵文化財包蔵地N079及び80遺跡に該当するため、旧石器時代～近世までの集落の一部が確認される可能性があります。



史跡田名向原遺跡公園完成予定図